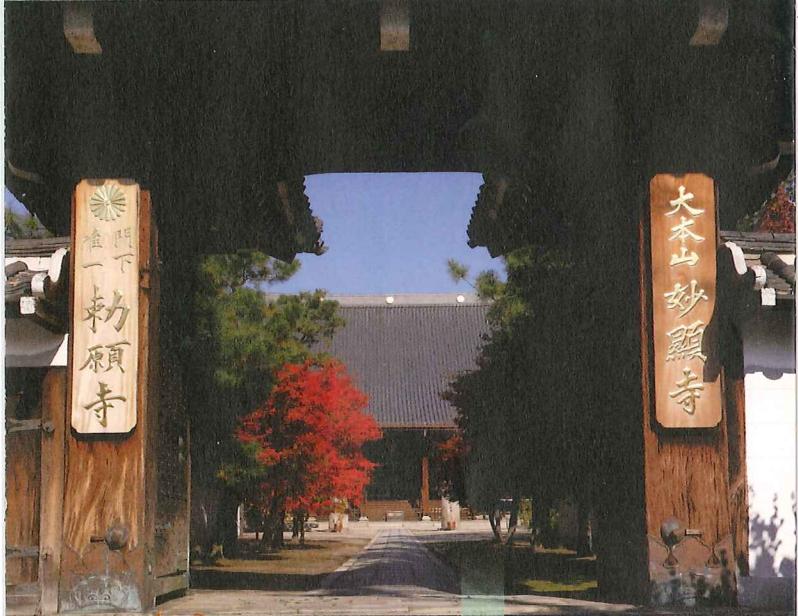


四海啓

Kyoto Myoken-ji Temple



妙顯寺

日蓮宗 勅願寺 大本山



書院へ渡る坪庭の竹林

妙顯寺の歴史

当山は眞定山 妙顯寺と称し、鎌倉時代後期、元亨元年（一二三一一）に創建された、京都における日蓮宗最初の寺院です。

日蓮宗の開祖、日蓮大聖人の遺命を受け、孫弟子に当たる日像上人により建立されました。日像上人は後醍醐天皇より法華宗布教の勅旨を賜り、以来門下尼指の勅願寺として米え、四海唱導とも称されました。

四条櫛笥（四条大宮の西南）を中心に活動していたことから、門は四条門流と呼ばれます。その後も伽藍は各地を転々としましたが、応仁の乱や天文法難を経て、室町時代後期から戦国時代後期には「一条西洞院の地」にありました。

安土桃山時代、秀吉の命により、堂宇を現在の地である小川寺之内に移転し、今日の伽藍の形が定まりました。

江戸時代には天明八年（一七八八）の大火「天明の大火」により、伽藍の大半を消失しましたが、すぐに復興されました。現在の建物の大半はそのときに再建されたものです。その後、明治の廢仏毀釈や戦後の混亂期を乗り越え、現在に法燈を受け継いでいます。

龍華樹院日像上人

妙顯寺を創建した龍華樹院日像上人は、文永六年（一二六九）八月十日、下総平賀の郷（現在の千葉県松戸市平賀本土寺）に誕生されました。幼名を万壽磨といい、異父兄弟に日蓮大聖人の

高弟の一人、師孝第一と称される日朗上人がおられます。幼い頃から聰明で知られていた万壽磨は六才の時、日朗上人に連れられて身延山に登り、日蓮大聖人からご本尊を授かり出家されました。この時、名を経一丸と改め、日朗上人を師と仰ぎ、日夜行学に励みました。

弘安五年（一二八二）、宗祖御入滅の際には、枕元にて悲願であつた京都への布教を託されました。当時十四才だった経一丸は日像と名を改め、日朗上人の指導のもと、来るべき京都弘通に備え、厳しい修行を積まれました。そして二十五才の時、鎌倉の由比ヶ浜にて百日間の荒行による祈願の後、宗祖の足跡をたどりつつ、北陸の地を経由して京都の地へと入りました。なお、北陸の地でも日像上人は多くの人々を教化し、後に越前法華の祖と仰がれています。



日像上人画像

京都開教

永仁二年（一二九四）四月十八日の朝、日像上人は、御所の東門に立たれ京都開教の第一歩を踏み出されました。最初は京都の町衆から信仰を広げるため、京都の通りの辻に立つて説法を繰り返しました。その教えは京都の町衆に広く受け入れられ、後に京都が「法華題目の巷」と呼ばれる程になりました。

しかし、洛内に檀信徒の広がりを見せる度、既存の社寺より度重なる圧迫を受け、日像上人は三度にわたる洛外追放を受けます。しかし、そのたびに追放先を拠点として教線を延ばし、関西一円に法華信仰が広がるきっかけとなりました。

その後、日像上人の後継者である大覚大僧正は地方の布教に励まれ、特に岡山の地では備前法華の祖と仰がれています。さうには雨乞い祈願の功績により延文三年（一二五八）、後光厳天皇より日蓮大聖人に大菩薩号を、日朗、日像上人にそれぞれ菩薩号を賜り、宗門の興隆に多大な功績を遺されました。

その後、日像上人の後継者である大覺大僧正は地方の布教に励まれ、特に岡山の地では備前法華の祖と仰がれています。さうには雨乞い祈願の功績により延文三年（一二五八）、後光厳天皇より日蓮大聖人に大菩薩号を、日朗、日像上人にそれぞれ菩薩号を賜り、宗門の興隆に多大な功績を遺されました。

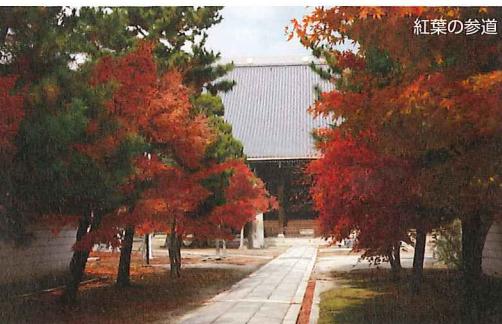
妙顯寺の現在

境内は約六千坪あり、周囲に塔頭が九ヶ寺あります。本堂は日蓮宗の伝統的な形式で十五間（約二七メートル）四面、内陣の尊像は三宝諸尊と十界曼荼羅を勧請しており、天井には寄進頂いた方々の家紋が配置されています。

尊神堂には鬼子母神を奉り、安産子易祈願の靈場として信仰されています。慶中稻荷堂は御所に勧請されていた慶中稻荷大菩薩の社を移したもので、御所の女官を中心的に信仰を集めました。

三菩薩堂には宗祖、朗師、像師の三師を奉り、御真骨堂には仏祖と三師の舍利を納めています。納骨堂には当山に納骨された方々のお骨を安置させて頂いています。

庭園として、貴人を迎える勅使門に面した「四海唱導の庭」、当山にゆかりのあつた尾形光琳の絵図になぞらえた「光琳曲水の庭」、小さいながらも清らかさを備えた「孟宗竹の壺庭」があり、春には桜、秋には紅葉の名所として、洛中の隠れた名所として知られています。



紅葉の参道



三菩薩堂及び鬼子母神堂

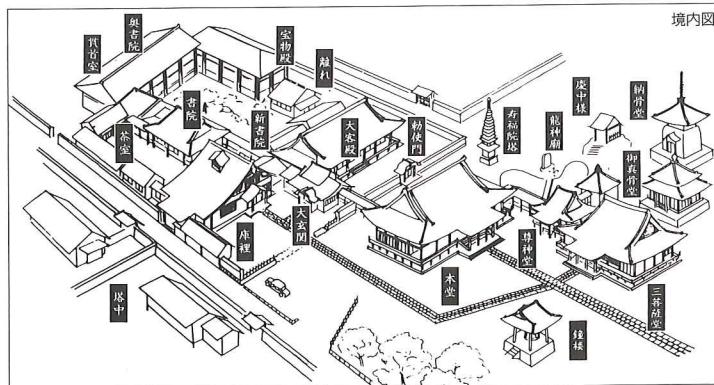


本堂内部



大本堂

境内図



N



市内付近地図

年中行事

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	※毎月八日
新年祈祷会（二ヶ日）	二の午 慶中様大祭	彼岸会 自由参拝	法華千部会	法華懺法会 （後醍醐天皇聖旨会）	盆益饑鬼大法要	法華懺法会	彼岸会 自由参拝	除災祈祷会 （お焚き上げ）	宗祖御会式並 日像菩薩御会式	十一月十三日	十一月八日	鬼子母神大祭
●各法要の開始時間は、一時です。 但し、鬼子母神大祭は、一時です。												

日蓮宗 勅願寺 大本山 妙顯寺

〒602-0005 京都市上京区寺之内通堀川東入
 TEL. (075) 414-0808 · FAX. (075) 414-0848
<http://www.shikaishodo.com>

◎京都への参拝観光の折の参籠宿泊も受け付けています。

発行